

墓石の形

和型、洋型を問わず墓石は台石を重ねたところに「棹石」を据えるのが基本的な形です。

「和型墓石」

台石を三段重ねた上に、縦長の棹石がのった形です。

棹石の形には、シンプルな直法型の「角碑型」、棹石の正面を縁どりした「額縁型」、などがあります。

棹石の上部を真直ぐに切り取ったままの「一文字型」、「香箱加工」、ゆるい山なりのカーブを描いた「半月型(蒲鉾型)」などがあります。台石の加工に「水垂加工」、「スリン付」、「蓮華加工」などがあります。



「洋型墓石」

台石にあたる洋台部に、棹石にあたる横長の棹部がのった二段のもの、洋台部に中台部を加えた三段のものがあります。人気の要因は、背が低いため視野が開けて明るいイメージがあること、家名でなく好みの文字や言葉を刻みたいとき、和型の墓石よりもバランスよくおさまること、震災後は、耐震（低重心）などの観点から洋型墓石の要望が増えております。



「和洋折衷型墓石」

和型の良さと、洋型の良さを習合した現代的な墓石です。



「デザイン墓石」オリジナル

想いを形にした様々なデザインがございます。

芸術家の岡本太郎さんや、歌人の与謝野晶子さんのお墓などもそうです。仙台市いずみ墓園を見ると、様々なお墓の形がございます。参考になります。

